



学びの成果を披露した蘇峽祭。
4年ぶりの模擬店も開かれた

蘇峽祭 制限なく活気

生徒たち楽しく盛り上げ

蘇南高 南木曾町 (村松義晴校長、11
の蘇南高校 6人) は1〜3日、同

校で、文化祭「第68回蘇峽祭」を開いた。4年ぶりに新型コロナウイルス対策の制限なく一般公開をし、訪れた大勢の地域住民らへ学びの成果を披露した。一般公開は2日であった。学年ごとの展示で、1年生は自分について振り返り、2年生は進路について考え調べた成果をまとめた。3年生は地域課題の解決などを目指す「総合探究」の様子を紹介した。部活動のステージ発表やワークショップ、4年ぶりの模擬店も開かれ、校内は生徒や来場者の活気に包まれた。

一般公開の時間が2時間のみに大幅短縮されるなど、前夜までの大雨の影響が出たが、精いっぱい蘇峽祭をつかった。実行係長の3年・木村美桜さん(17)は、「コロナの制限下にはなかった多くの方に来ていただけうれしい。明るい雰囲気な蘇南の良さを見てもらいたいし、生徒にとっても楽しい文化祭にしたい」と願っていた。(大高崎慧)